

ツゲモチ

か めい
科名 モチノキ

べつ めい
別名 オキナワソヨゴ

がくめい
学名 *Ilex goshiensis*



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶ
分 布 ほんしゅう き いはんどう しこく きゅうしゅう おきなわ
本州 (紀伊半島)、四国、九州、沖縄、
たいわん
台湾

は かたち
葉 の 形 だえんけい
楕円形

は ふち
葉 の 縁 ぜんえん
全縁

は さき
葉 の 先 どんけい
鈍形

は しゅるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい
葉 の 付方 互生

は き ふ えいけい
葉 の 基部 鋭形

み しゅるい かくか
実 の 種類 核果

は な がくいろ しろいろ
花 ・ 萼 色 白色

せつ せい
説 明 さんち りんない せいいく たか おお じょうりよく こうぼく わか
山地の林内に生育する高さ6-10m、大きなものは10mにもなる常緑の高木です。若い
えだ ほそ け は は は かくしつ なが はば りょうめんむちう きよし
枝は細く、毛が生えています。葉は革質、長さ2-5cm、幅1.5-3cmです。両面無毛、鋸歯は
ありませぬ。はな しろいろ こ こあつ ようえき さ み きゅうけい けいやく
ありません。花は白色で1個から5個集まって葉腋から咲きます。実は球形で径約5mmで
す。ツゲモチの名の由来は、葉がツゲの葉に似ていることからついたといわれています。